



希望いっぱい！夢いっぱい！ とよの東学園・とよの西学園が開校しました



子どもたちの元気な声が町に戻ってきました。例年より少し長めの春休みが明け、去る4月10日に、「とよの東学園」、「とよの西学園」の両義務教育学校が開校式を行いました。13日に新1年生の入学式を控えていたので、この日は2年生から9年生までが登校しました。「7年生」、「8年生」、「9年生」という呼び方にも慣れない中でしたが、子どもたちは元気に両学園のそれぞれの体育館に集合しました。去年までは小学校、中学校それぞれで迎えた新学期でしたが、大勢で、それも幅広い学年が一緒になったことで、これまでよりも緊張感が漂いました。開校式には来賓の方々もお招きして、盛大にして、かつ厳かな雰囲気の中での式となりました。



両学園とも最初に感心したのは、初日にも関わらず、子どもたちがたいへん落ち着いた態度、姿勢であったことです。これは最上級となった9年生を中心に、上級生が凛とした姿勢で式に臨んでいたその空気感を、下級生も感じ取り、見習っていたからだと思います。小学校、中学校という垣根を取り払った一つの

の学校になり、その中で最も期待される効果の一つが、上級生の自覚が増すことと、下級生の上級生へのあこがれです。その効果が初日から現れていました。また、式では生徒代表の言葉もあり、その中では、新しい学校を自分たちで作っていくんだという意気込みが感じられ、これからの子どもたちの活躍に大きな期待を抱かせてくれるものでした。西学園では、校歌の作詞作曲をくださった大阪音楽大学の松浦先生からもお言葉をいただき、校歌に込められた願いなどをお聞きし、子どもたちも教職員も深く感銘を受けました。また、東学園の校歌は旧東能勢小学校の校歌をベースにしたものですので、慣れ親しんだメロディーを初日から全員が大きな声で歌えていました。30分程度の式でしたが、たいへん感動的な式となりました。



後日、入学式も無事に終え、初々しい1年生を迎えた両学園は、日に日に活気を増し、町の希望となるべく、地域に愛される魅力ある学校に向けて素晴らしいスタートを切りました。





新学校2校を 紹介するよ

少人数の機動力・地域の魅力を活かす東学園

これまで東能勢小学校が積み重ねてきた150年の歴史を礎に、児童生徒、保護者・地域の皆さま、学校に関わっていただいているすべての方、そして教職員が力を合わせ、チーム「とよの東」一丸となって、地域とともにある学校「とよの東学園」が活気あふれる学校となるよう、みなで力を合わせて進めていきます。



学校では、体験や探究を積極的に学習へ取り入れてきました。これまでの「とよの未来科～東能勢style～」から名称をあらため、「とよの未来科～Estyle～」として、より深い学びへと進めていきます。「E」には、「East（東）」「Experience（体験）」「Exploration（探究学習）」「いい」などの思いを込めており、子どもたちが主体的に取り



り組む活動を今後も積極的に推進してまいります。昨年度は大阪府教育庁主催の「わくわく・どきどきSDGsジュニアフォーラム2025」で金賞を受賞しました。子どもたちの主体的な学びが実を結んだ成果です。引き続き、「とよの東学園」への温かいご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

「なりたい自分」を見つける西学園

1年生から9年生まで、572名の児童生徒が在籍している「とよの西学園」。一人ひとりが新しくなった校舎で、毎日「できた」「わかった」をたくさん体験しながら、「なりたい自分」を見つけていっています。



そうした中で、どの学年でも取り組んでいるのが「プラスタイム」という時間。この時間は、「自分で考えて学習すること」を大切に、「学習計画を立てて、実行して、ふりかえる」ということを行っています。こうしたことを下の学年からじっくり育てていくことで、上の学年になるまでに、「自分で考えて学習すること」ができる力をしっかりと身につけることを目的としています。

また、5年生から7年生までは、学級担任を固定せず、複数の教職員で担当する「チーム担任制」を導入しています。



各学年の児童生徒の実態に合わせて、少しずつ先生方の関わり方はちがいますが、児童生徒のみなさんは、複数の先生の誰に相談をしてもいいし、いろいろな先生方から指導や支援を受けることができます。

新しくスタートした「とよの西学園」への温かいご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

問＝義務教育課 ☎739-3427